

## 令和2年度阿倍野区区政会議 福祉・健康づくり部会における主な意見等

## 第1回部会（令和2年8月6日開催）における委員からの主なご意見等

## ○ 令和2年度阿倍野区運営方針についての主な意見等

「新型コロナウイルス感染症による令和2年度阿倍野区運営方針具体的取組及びその他事業への影響」について

- ・集まらずにつながる方法をいろんな方面で模索されていると思うのですが、リモートといっても（認知症の方などは）なかなか ZOOM も LINE もできない方が多いので取り入れることが難しいし、電話だけでつながるといっても難しいと思うので、なにか感染を予防してできるような取組みはないかと思う。
- ・若年性認知症の方を早期発見することは難しいので、こういうコロナの状況の中で、生活が困っているということが噴出しているこの機にできるだけキャッチするようなことも必要と思う。
- ・集団がん検診の応募が縮小しすぐに定員に達しているという問題について、それを医療機関に回していると聞いたが、医療機関も切羽詰まっていると聞いている。健康診断についても、私ども事業所の受入態勢がすごく厳しい状態になっている。医療機関に回すといっても現実的には厳しい問題だと思うので考えていただきたい。
- ・新型コロナウイルス感染症対策で、東京がこの何日間か取り組んでいる行動が報道されていたが、東京の医師会が区といっしょになってPCR検査をたくさん実施していこうとしている。それは区の予算でやっていると思うし、国とか東京都の予算ももらうと思うが。そういった区の方針がなければ何も動かないと思う。阿倍野区でも全区民がPCR検査を受けることができる方針をしっかりと出してもらいたいと思っている。
- ・長年、民生委員をやっていて、いろいろな地域の方々から苦情などを寄せられるが、地域包括支援センターができてからは連絡を取り合っただけで動いていただいて、問題を解決していただいている。たいへん助かっている。
- ・地域福祉コーディネーターについて、一生懸命活動をやっておられるので、昔の民生委員だけで活動に取り組んでいたときよりも、連絡を密に取り合っただけで動くことができ活動がたいへん活発になっているのではないかと考えている。